

第47回 町長定例記者会見

- 開催日時 令和7年3月3日（月）午後4時50分～
- 開催場所 遠軽町役場3階大会議室
- 記者数 5人

報道機関の皆様におかれましては、日頃より町政など地域の情報を町民にお届けいただき、心からお礼申し上げます。

それでは、今回の議題についてご説明申し上げます。

えんがる ぶらっく すとーんず

1 『ENGARU BLACK STONES』ブランドロゴ発表について

国宝「北海道白滝遺跡群出土品」が一昨年、道内2例目の国宝に指定され、全国で一番古く一番新しい国宝になりました。これが地域の活性化に繋げられるように「ENGARU(えんがる) BLACK(ぶらっく) STONES(すとーんず)」としてブランディング化を行い、さまざまな場面で地域が一体感をもって盛り上がるためにロゴマークの作成をいたしましたので、発表イベントを開催させていただきます。日時は3月19日（水）17時00分から、場所は遠軽町芸術文化交流プラザ・メトロプラザ大ホール、当日は今回作成したロゴマークを使用した遠軽高等学校ラグビー部の新しいジャージをお披露目する予定であります。

これをさらに、活用をどんどん広げていく構想を今民間の人たちと持ってやっていくという形を考えております。例えば、商工会議所会員の企業の人たちが皆で集まって、国宝で作ったジャージと同じようなポロシャツにより、町の一体感やPRということもできたらいいなということも考えているところです。

2 令和7年国勢調査の実施及び遠軽町実施本部の設置について

国勢調査は今回22回目になります。令和7年（2025年）10月1日を基準として、全国一斉に実施されます。国の人口、国の人口分布、年齢構成などを調べることは国の政策の中で一番大事な調査になります。人口の推計、今少子化など問題になっていますが、あれは住民票の人口ではなく、国勢調査の人口になります。そういった重要な調査がありますので、単身赴任や下宿の人もぜひ回答してほしいと考えております。住民票が無くても、3か月以上住んでいるか、3か月以上住むことになっている場所で調査票に記入することができますので、ぜひ国勢調査の回答をお願いしたいと思います。

今年は遠軽町で初めて国勢調査実施本部の発足式を行い、しっかり国勢調査を行おうと考えております。

3 第3次遠軽町総合計画の策定について

これは2月18日に遠軽町総合計画審議会により、民間の人たちが集まって答申をいただきましたので、3月定例会に議案として提出いたします。答申内容は、将来像の実現に向けて、町民との協働により積極的な施策の展開を図るようとの答申が審議会から私の方にいただいております。

合併して20年、答申を踏まえて次の10年に向けしっかりと取り組んでまいります。

4 出張！なんでも鑑定団 in 遠軽について

6月29日（日）にテレビ東京の番組「なんでも鑑定団」の公開収録をメトロプラザ大ホールで行います。これは遠軽町の合併20周年記念事業として実施するもので、1月からお宝の募集及び当日の観覧募集、当日の観覧募集も行っております。どちらも4月25日（金）締め切りです。

観覧したいという人はたくさん来ていますが、お宝の方は今一つの状況でありますので、時代やジャンルを問わず、応募をお願いいたします。公開収録に出場可能であれば、遠軽町内に限らず遠方か

らの応募も可能であります。どちらも申し込みは、遠軽商工会議所までとなっております。

5 エンアイリッシュデーについて

アイルランドの「アイリッシュ」に、遠軽の「エン」と合わせて「エンアイリッシュデー」というものをずっとやっております。1964 東京オリンピックから家庭学校で育ててきたアイルランドの木が、2020 東京オリンピックで多数使用されたということで、遠軽町は 2020 大会におけるアイルランドのホストタウンとなりました。

3月17日は、アイルランドの1番大事な日となるナショナルデーの「セント・パトリックス・デー」に合わせて、町でも「エンアイリッシュデー2025」のイベントで行います。3月14日から23日までの10日間、メトロプラザホワイエにおいて、アイルランドを紹介する展示を行うとともに、岩見通南1～4丁目のイルミネーションをアイルランドカラーの緑色とオレンジにライトアップし、20日(木・祝)にはメトロプラザにおいて、アイリッシュティーとアイルランドチーズを提供するカフェコーナーを設ける予定です。

イベントの詳細については、今後ホームページや新聞折込などでも周知してまいりますので、アイルランドにぜひ関心を持っていただくとともに、アイルランドカラーの緑色、これを付けてみんな集まっていただければありがたいと思います。

6 重点支援地方交付金事業の実施について

国の令和6年度補正予算の成立に伴い、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」が配分されることとなりました。これにより、遠軽町には非課税世帯等への給付など、低所得世帯支援枠として概算で106,088千円、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者へ支援を行う推奨事業メニュー分として87,003千円が交付限度額として提示されたところです。国からは一般の経済対策において早期執行が求められているところであり、各々目的に合わせて予算をつけて執行してまいります。

いろんな形での物価高騰の支援金として、非課税世帯への給付、医療機関や福祉サービス事業所への配分、保育所の給食費の助成、燃料高騰により経営圧迫されている農業者に対する助成、中小企業や民間温泉宿泊施設など物価高騰に苦しんでいる事業者への支援など、さまざま支援を行います。